



# 高松日和

令和7年3月3日  
【第52号】  
(校長版学校便り)

## “令和6年度第77回卒業証書授与式”

### ～卒業生235名、新たな旅立ち～

3月1日(土曜日)、まさに卒業式日和といったも良い好天のもと、令和6年度第77回卒業式授与式を挙行し、普通科196名、理数科39名の計235名の卒業生が、多くの保護者や在校生に見送られながら、学び舎である本校から新たなステージに向けて、旅立っていきました。入場する卒業生の胸には、本校生徒も関わっている地域活性化団体「いいらぼ」が水引で作ったコサージュが飾られ、各担任より一人ひとり呼名され立ち上がる生徒の表情は、緊張しつつもとても晴れやかなものでした。

卒業生への饞(はなむけ)として式辞の中で、「異年齢やあるいは異文化、違う価値観を持った人々と、リアルな交流、対話を積極的に行い、人間性を磨き、この飯田・下伊那地域を含め、これからの社会のより良き発展に寄与してもらいたいと切に願っています。」と話し、在校生を代表して送辞を述べた生徒自治会副会長の伊澤志音さんは、「先輩方の熱い思いを引き継ぎ、その火を大きくすることで、ここ飯田高校が今よりもっと明るく輝く場所にしていきたい」と決意を新たにしていました。また、卒業生を代表して佐藤遼君は「本校で得たものは計り知れない。困難に直面しても、共に学び成長した経験を胸に勇敢に進んでいきたい」と力強く述べました。

卒業式後も、仲間や先生方と別れを惜しむような声が校内に響き渡っていましたが、一回りも二回りも成長した卒業生との再会を楽しみにしています。



卒業証書授与



卒業生代表答辞

